

SUMITOMO

拠点所在地



左から：里見副社長、里見社長、戸郷専務

事業環境
鉄リサ
イクルの
ない。
容易では
材確保も
よって人
減少に
働き手の
行による
減き手の
たつて経
会社には、
の中心を担
長や戸郷悠
する若い人
モットーで
切さは、次
ていく。

地域に根差した事業で実績を重ねつつ、積極的な展開を続けるエース金属は、宮崎県内での新たな事業所の出店も検討しながら、スクラップ事業の強化を続けていく方針だ。しかし、スクラップ発生を左

右する人口の大幅な回復は見込めず、宮崎県内のスクラップ発生量は他県と同様に減少傾向が続いている。また、近年は新興の事業者も増えており、競争の激化に拍車がかかっている。少子高齢化の進

行による減き手のたつて経会社には、の中心を担長や戸郷悠する若い人モットーで切さは、次ていく。

誠実さや親切さの重要性
「いつの時代も不変なもの」

は厳しさを増すが、里見社長は「お客さまに対して誠実で親切なサービスを継続することの大切さはいつの時代も変わらない」という。例えば、持ち込みスクラップの購入価格を設定する際も、なぜこの価格であるかを丁寧に説明することで、ユーザーに納得感が生まれる。この商売における双方の納得感こそが、長期的に商売を続ける上で重要なことを里見社長は長年にわたって経験してきた。

都城エリアに3拠点を構えるエース金属は、鉄リサイクル事業を主力に非鉄金属や自動車リサイクル、中古部品販売事業を手掛ける老舗リサイクルだ。月間800〜1000トを扱う鉄スクラップは宮崎県の全域から老廃・加工品が集まり、油庄シャワーなどで加工した鉄スクラップを製鋼原料として県内シッパーなどの需要家に供給している。会社は1967年、高校を卒業した里見社長が「里見商店」を立ち上げ創業した。当時は車社会が本格的に到来する前の時代だ。車道にはオート三輪が走り、都城エリアの移動手段はバイクが主流だったという。里見商店の事業もバイク由来のスクラップや部品の販売を主力としていた。

その後、経済成長とともに地域で自動車の普及が加速し、自動車由来の解体や部品販売が拡大。ユーザー数も年々増加した。バブル期には月間100〜200台の使用済み自動車を取り扱い、自動車部品を買い付けに来るユーザーの範囲は宮崎市から鹿児島県国分市に至るエリアに広がった。自動車事業の成長を期に1997年に社名を「オートパー

円にまで跳ね上がった。時代

物語っている。

自動車からスクラップ業へ移行
決断力・実行力で時代に対応

その後、経済成長とともに地域で自動車の普及が加速し、自動車由来の解体や部品販売が拡大。ユーザー数も年々増加した。バブル期には月間100〜200台の使用済み自動車を取り扱い、自動車部品を買い付けに来るユーザーの範囲は宮崎市から鹿児島県国分市に至るエリアに広がった。自動車事業の成長を期に1997年に社名を「オートパー

円にまで跳ね上がった。時代

物語っている。

宮崎県都城市は宮崎市に次ぐ県内2番目の主要都市で、鹿児島県にも近い地域柄から薩摩文化も混在し、芋焼酎の生産においても全国的に有名な街だ。近年は市が移住者の積極的な受入れを図っており、2024年には13年ぶりに人口が増加した稀な地方都市でもある。都城エリアで鉄リサイクルや自動車リサイクル事業を手掛けるエース金属（本社）都城市都北町、里見義明社長）は、業容の変化を続けながら、時代の変化に対応している。

友建機
住建
リサイクル紀行
Vol.44 エース金属（宮崎県）



スクラップを扱う三股店(宮崎県三股町)

の変化を肌で感じた里見社長は、2000年代後半に鉄リサイクル業への移行を決断。自動車リサイクル事業を継続しつつ、設備投資を進めて事業の中核を鉄スクラップや非鉄金属の加工処理事業にシフトした。

こうした時代や業容の変化にともない、2023年には社名を現在のエース金属に変更した。覚えやすく、ネットなどで検索しやすい名前であることのほか、「都城で名の通った企業になる」との決意も新たな社名に込めた。

まさに里見社長が心掛ける「誠実さ」や「親切さ」を持ってエース金属で稼働する住友建機の運用を支えている。

担う住友建機販売・宮崎支店の留奥大樹主任技師は、40年以上の職歴を持つ社内屈指のベテラン技術者だ。溶接マイスターの資格を持つなど一級の技術は言うまでもないが、留奥氏は「整備スタッフも営業と同じで、ユーザー様との対話が大事だ。次に何が起こるかを想定しながら、対話を通じて最適な運用方法を決めている」という。

まさに里見社長が心掛ける「誠実さ」や「親切さ」を持ってエース金属で稼働する住友建機の運用を支えている。

担当：轟木 善一

住友建機を長年ご愛顧いただいているエース金属様の信頼にお応えできるよう良質なアフターケアと情報提供に努めてまいります。



住友建機販売株式会社 宮崎支店
〒885-0004 宮崎県都城市都北町7413
Tel : 050-9001-8652 Fax : 0986-38-4525

～住友建機がある風景～



SH120LC-7MH : SH200LC-7LM、SH120LC-7MHを(三股店)
2機、SH135X-6、SH215U-2の5機の住友建機マシンは、機械解体やスクラップ荷役など、タフな作業をこなしながら、現場運用を支えている。

誠実さを持ったサービスを評価

エース金属は今年6月に住友建機製SH235X-7を新たに導入する予定だ。20年以上にわたり稼働を続けてきたSH215U-2の後継機として、機械類の解体作業で活躍が期待される。

エース金属が住友建機を選ぶ大きな理由の一つに、良質なメンテナンスがある。豊富な知識と経験を持つ整備スタッフが故障を未然に防ぐ提案を定期的に行い、トラブルが発生した場合も、その原因や最適な対処法を説明する。里見社長は「このサービスがある限り、



SH200LC-7LM(三股店)

他には変えられない。ぜひ次世代にも継承してほしい」と話す。エース金属で整備を